

# 噴火災害に負けない活力ある地域づくり

～ 地域活動の拠点を目指す公民館であるために～

島原市立安中公民館  
公民館主事 野口 光成

第69回九州地区公民館研究大会沖縄大会にて、第1分科会「地域づくり」で事例発表をさせていただきました。

私が勤務している島原市「安中地区」は、今から28年前に雲仙・普賢岳噴火災害により甚大な被害を被った地域ですが、人情豊かで地域の団結力が大変強く、地域で行う各種行事にも積極的に協力いただいています。

今回の討議のテーマが「地域課題に対応した公民館活動の在り方」ということで、溶岩ドーム崩落から身を守る防災避難訓練、“愛でる”安中梅林の復活プロジェクト、みんなが主役の「安中あそばんば広場」を実践し、公民館をプラットフォーム（協働拠点）とした活動を目指して、取り組んでいる状況を発表させていただきました。

発表後にはテーマに沿った研究討議がはじまり、会場に参加された皆様による事例発表がなされ、公民館は地域と切っても切れない繋がり・役割が課せられていることを再認識することができました。

今後も、地域住民が主役の公民館活動を心掛け、多世代・異世代間交流を積極的に展開できるよう、また、地域住民の出番づくりを支援できるよう努力していききたいと思います。

結びに、今大会に声を掛けていただきました県公連事務局の皆様、また九公連大会事務局の皆様方には大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。



安中梅林で梅の収穫



あそばんば広場